

# 「平取ダム定礎式」を開催しました～ダムの永久堅固と安泰を願って～

沙流川ダム建設事業所

7月30日(日)、平取ダム堤体建設工事敷地内(沙流郡平取町字芽生)において、平取ダムの基礎が立ち上がったことを記念するとともに、ダムの本格的な築造に際し、礎石をそえてダムの永久堅固と安泰を地域の皆様とともに願う「定礎式」を開催しました。

式には、国会議員、北海道知事(代理:日高振興局長)、北海道議会議員、平取町長、日高町長、両町議会議員、地元関係者、国土交通大臣政務官、国土交通省本省、北海道開発局など約150名が出席しました。

## 定礎の儀について

### ○鎮定(ちんてい)の儀 (写真右上)

礎石を固めるため、コンクリート材料を礎石の周りに入れます。これからの工事に筋道をつける意味があります。

### ○齋鰻(いみごて)の儀

鎮定の儀により礎石のまわりに入れられたコンクリート材料を鰻でならします。鎮定の儀でつけられた道筋をならす意味があります。

### ○齋槌(いみつち)の儀

槌を用いて礎石をしっかりと納めます。齋鰻の儀でならされた道筋をさらに強固なものにする意味があります。

### ○埋納(まいのう)の儀 (写真右下)

クレーンで搬入したコンクリートを礎石の上に投入し、礎石と堤体を一体となるよう埋め込みます。



[平取ダム定礎式の詳細はこちら！！](#)

